

草の根活動 交流NEWS ⑤5300人最高の峰へ	第756号 2026年7月14日 会員数15万3382人 読者数 5073人	消費税をなくす全国の会 〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201 電話03-3940-0401 FAX03-3949-9885 Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp
--	--	--

最高現勢まであと227人 自主目標決め読者増やそう

「総会まで30人の拡大目標を決めました」(埼玉の会)、「9月末までに300人の読者にします。手立てはこれから考えます」(福岡県の会)。「集中期間」の取り組みに応じて自主目標を決め、拡大行動に立ち上がっています。「しんぶん赤旗」の会報紹介を見て購読を申し込むファクスも届いています。「社会保障国民会議」は給付付き税額控除が主要なテーマになり、消費税減税は先送りになっています。国会の場で審議し、ただちに一律5%減税にすることを求めましょう。



「あと50人は増えるよ」

青森市の会

会報「ノー消費税」420号(8月号)1面は「青森市の会」の活動です。3人の女性たちの消費税に対する怒りや「なくす会」の活動への思いなどを伝えています。これまでコツコと読者を増やし、15年ほど前は50人ほどの読者が現在108人。倍以上に増やしています。

2026年パンフは450部普及し、100部を追加で注文。10月の全国総会に向けての読者拡大の目標を聞くと「弘前市で購読を訴えると、50人は増やせるのでは」と力強い返事が返ってきました。拡大の報告を待っています。

「財政厳しいけど、購読するわ」

岐阜県内の地区委員長

岐阜県内の共産党の地区委員会に電話を入れ、購読を訴えました。地区委員長は元議員さん。「議員の時は購読していたけどな。地区委員会の財政が本当に厳しいのよ。節約できるものは全部節約している。実はな、トイレトペーパーも私が持ってきているのよ。購読したいけどな。どうしようかな…。議員に読んでもらうか…」と地区委員長があれこれ思いをめぐらせている様子が伝わってきました。

「無理かな」と思っていると「そうや、私個人が購読すればいいな。そしたら誰も文句を言わんやろ。ほんなら、私宛に送って」とうれしいお言葉が聞こえてきました。購読、ありがとうございました。

飯館村で読者拡大

福島県の会

2011年の福島原発事故で全村避難を強いられた飯館村。15年が経過した現在も村民の6割強が村外での避難生活が続いています。昨年9月の村議選で9期目の議席を守った佐藤八郎さんが読者になってくれました。佐藤議員も村外での生活が続き、服部事務局長はなかなか接触することができませんでした。ようやく会うことができて購読OKに。福島県の会は全国総会まで200人の読者にするのを目標にしています。あと21人、「必ず達成を」と奮起しています。

東京北区の都営住宅を訪問

全国の会



全国の会の事務所がある東京北区では、都議になったせいの恵子さんからバトンを受け継いだ、いそむらゆう子

さんが先日、事務所にあいさつに来られました。会報の読者になってくれ、「一緒に行動を」と話し合い、7月3日に都営住宅120戸を訪問。事前に消費税と憲法の署名を投函しました。31人と対話(インタホン越し含め)、署名が8人。「生活が苦しい」「エアコンがない」「掃除ができていない」など生活の厳しさを実感しました。事前に後援会事務所に署名を届けてくれた人、玄関のドアに貼ってくれていた人、後日、6人分の署名を後援会事務所に届けてくれた人もいました。